

土のう造成機

土のう造成機は、止水対策に必要な土のうを人力の代わりに早く、連続して作り出すことが出来る機械です。応急対策が必要な場所に出動し、水防支援を実施します。



機械の諸元

主要諸元

造成機寸法	全長4,560mm×全幅3,800mm×全高2,870mm		
機器重量	3,140kg	土砂供給装置	上段1,990kg
		結束装置	下段 690kg
		運搬コンベア	340kg
ホッパー容量	1.0m ³		

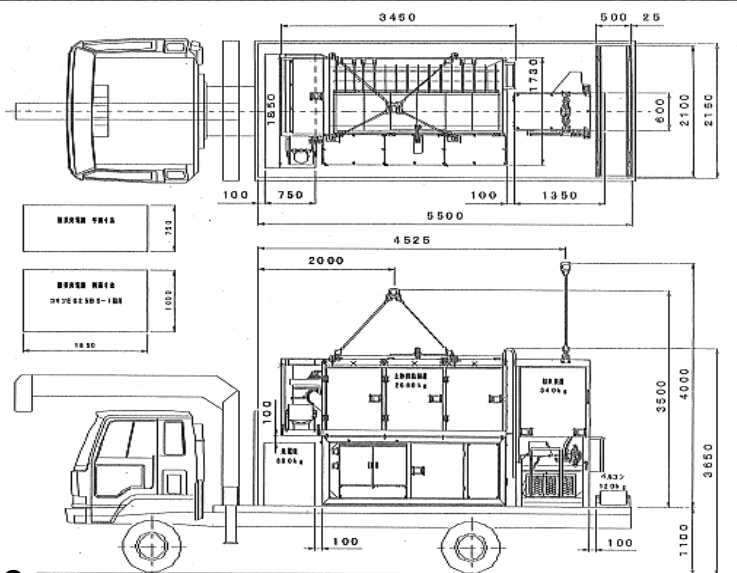
主要機能

造成能力	400袋/h(土のう重量約15kg)
------	--------------------



＜造成機の設置イメージ＞

※諸元については建設機械番号17-4604を参照



＜推奨車載レイアウト＞

土のう造成機

設営スペース

7m×6m

設営目安人数

6人

設営目安時間

60分

必要資格

中型自動車免許

派遣・運用時の条件・留意点

派遣時

運用時

- 機械の運搬には別途運搬車両が必要です（車両によって免許は異なります。）
- 幅3.5m以上の砂利等で整地された進入路が必要です。
- 運搬車両の進入路が軟弱な地盤の場合には、砂利や敷き鉄板の養生が必要です。
- 機械の設営スペースとして、概ね7m×6m程度が必要です。
- 設営作業には、作業員6名で60分程度の時間が必要です。
- 本機械の設営は、別途クレーンが必要です。
- 土砂供給装置の上部から土を供給するための機械が別途必要です。
- 適用土質は最大粒径150mm以下の砂質土、レキ質土、粘性土(シルト+粘性土50%以上で湿潤状態を除く)です。
- 土のう袋は寸法620mm×480mm、口紐 袋口から結び目まで80mm±10mmのものを使用します。



＜標準的な土のう造成機による土のう作成の流れ＞

「進入路」と「設置スペース」

■災害対応現場イメージ

①進入路（直線）

土のう造成機
運搬車両
(約3.8m)



幅4m以上必要

4tトラック
(約2.5m)



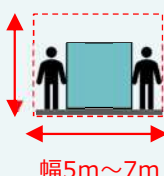
幅4m以上必要

軽トラック
(約1.5m)



幅3m以上必要

②設置スペース



災害現場や土の供給に使用する機械により設置スペースは異なります。

